

平成29年度小中一貫教育推進計画

須賀川市立稲田小中学校

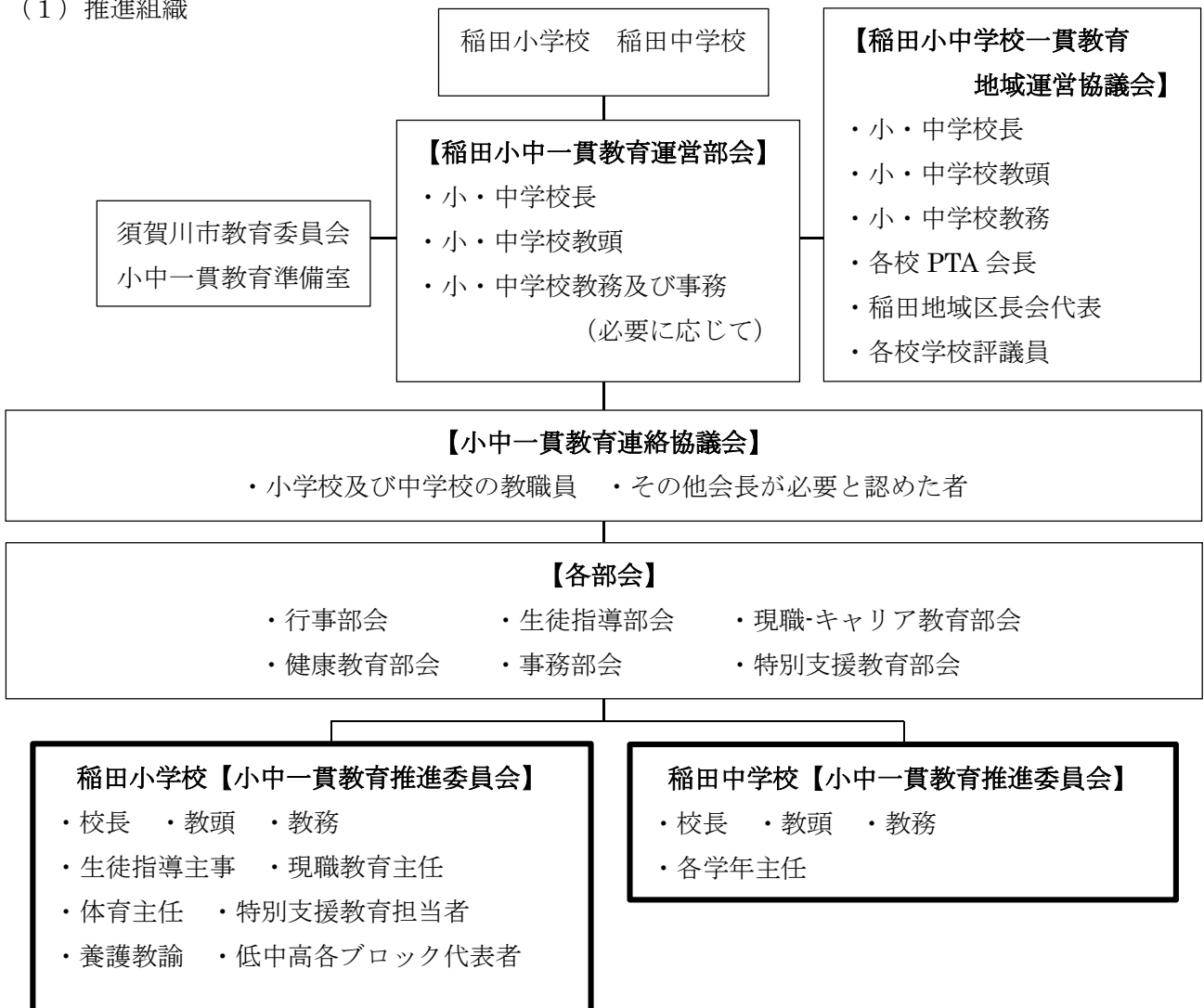
1 方針

義務教育9年間の一貫性のある教育活動を通して、一人一人の個性や能力を伸ばし、豊かな人間性や社会性を培い、生き抜く力を身につけたたくましい児童生徒を育成するために、平成29年度の小中一貫教育を推進する。

平成29年度は、原則、小中一貫教育推進事業「試行」年度とし、諸計画の実践・評価を行い、改善策・反省を平成30年度以降の教育課程に反映させることができるようにする。

2 推進体制

(1) 推進組織



(2) 組織の内容

①【稲田小中一貫教育運営部会】

- 小中一貫教育連絡協議会での原案の立案

②【小中一貫教育連絡協議会】

- 小中一貫教育推進計画またはその変更の案の作成
- 小中一貫教育推進計画に定める措置の実施

③【各部会】

- 9年間を見通した指導計画等の作成
- 情報交換・連絡調整

④【小中一貫教育推進委員会】

- 小中一貫教育推進計画に定める措置の実施・検討

⑤【稲田小中学校一貫教育地域運営協議会】

- 稲田小中一貫教育のあり方についての協議・各校長への答申

3 推進計画

(1) 中長期計画

推 進 内 容	26年	27年	28年	29年	30年
学校管理・運営面					
①小中一貫教育ランドデザイン (稲田小中学校ランドデザイン)	検討	完成	実施	実施	実施
②教育目標・重点目標	検討	→	→	完成	実施
③校務運営組織(校務分掌)		検討	完成	試行	実施
④日課表		検討	完成	試行	実施
⑤PTA組織の一元化	検討	→	完成	試行	実施
⑥合同学校評議員会	一部	実施	実施	試行	実施
⑦合同職員会議・職員打合せ		検討	→	試行	実施
⑧愛称歌・シンボルマーク	検討	→	→	完成	実施
⑨学校要覧			検討	完成	実施
⑩学校ホームページ			検討	試行	実施
⑪開校式				検討	実施
⑫引っ越し			検討	実施	
教育課程・学習面					
①9年間を見通した教育課程	検討	→	完成	試行	実施
②学力向上プラン	検討	→	完成	試行	実施
③中学校教員による小学校への乗り入れ授業	検討	一部実施	完成	試行	実施
④小学校教員による中学校での授業(TT)		検討	実施	→	→
⑤小中合同集会活動(いなだっ子集会)	検討	実施	→	→	→
⑥小中合同部活動(陸上)		検討	→	試行	実施

⑦検定試験	一部実施	→	実施	→	→
部会関係					
①行事部会	各部会の計画により 検討・試行を行う。				実施
②生徒指導部会					実施
③現職-キャリア教育部会					実施
④特別支援教育部会					実施
⑤健康教育部会					実施
⑥事務部会					実施

(2) 短期計画

活 動 (内 容)	活動のねらい	対象学年等	期 日
中学校教員による 乗り入れ授業	○ 中学校の教員が小学校高学年において専門教科を担当することで、より専門性の高い、分かりやすい授業を行い、学力を向上させる。	5・6年	通 年
小学校教員による 乗り入れTT授業	○ 小学校の教員が中学校1年生の数学科の授業にT2として入り、個に応じた支援を行い、学力を向上させる。	中1年	通 年
縦割り活動 ・いなだっ子集会 ・ボランティア活動	○ 年間を通して共に活動する縦割り班を編成し、集会活動や地域美化活動、その他異学年のふれあい活動を行うことにより、思いやりや協力・助け合いの心を育む。	全学年	4 月 9 月 12月
松明あかし 出発式見学	○ 中学3年生による、勇壮な松明あかし出発式の様子を3年生が見学することにより、郷土を愛する心や中学生へのあこがれの気持ちを育む。	3年 中3年	11月
秋華祭	○ 日頃の学習の成果を保護者・地域に披露すると共に、小中学校合同で文化祭を開催することにより、中学生には自己有用感を、小学生には中学生へのあこがれの気持ちを持たせる。	全学年	10月
中学校部活動体験	○ 6年生の部活動体験を通して、中学生には先輩としての自覚を促し、小学生には中学校入学への自覚と目標を持たせる。	中学生 6年	10月 3月
合同漢字能力検定	○ 希望者を対象に年3回（1～6年生は7月と2月の2回）の漢字能力検定を受けさせることにより、漢字に興味を持たせると共に、語彙力・国語力を身につけさせる。	全学年希望者	7 月 11月 2 月
合同数学検定	○ 希望者を対象に年2回程度（1～6年生は3月の1回）の算数・数学検定を受けさせることにより、算数・数学に興味を持た	全学年希望者	8 月 12月 3 月

	せると共に、それらの実用的な技能を身につけさせる。		
合同英語検定	○ 希望者を対象に年3回の英語検定を受けさせることにより、英語や異文化への興味・関心を広げ、英語でコミュニケーションすることへの親しみや楽しさを味わわせたり、英語を話す・聞く・書く・読む力を高めたりする。	全学年希望者	6月 10月 1月
授業参観・ 授業研究会	○ 相互の授業参観、授業研究会への参画を通して、学習状況の実態を把握し、指導改善の手立てとする。	全学年	6月 11月
ノーメディアデー の実施	○ ノーメディアデー（「家族の日」各学期1回）を実施することにより、生活習慣の改善を図り、学習習慣を育成する。	全学年 保護者	通 年
学びの習慣づくり の実施	○ 9年間を通した「家庭学習の手引き」を活用することによって、学習習慣を育成する。	全学年	通 年
「家庭教育10の 誓い」の発行	○ 定期的に保護者啓発通信を発行し、家庭の教育力向上を図り、子どもたちの健やかな成長を促す。	幼稚園・小中 学校保護者	通 年 4月発行
合同生徒指導委員会 (生徒指導部会)	○ 小中の情報交換を通して共通の課題を確認し、今後の生徒指導の指針を協議する。	校長・教頭・ 教務・生徒指 導主事	4月 11月
合同学校保健委員会	○ 小中の情報交換を通して共通の課題を確認し、今後の保健指導の指針を協議する。	校長・教頭・ 保健主事・ 養護教諭	9月
合同特別支援委員会 (特別支援部会)	○ 小中の情報交換を通して共通の課題を確認し、今後の特別支援の指針を協議する。	校長・教頭・ 特別支援担 当者	5月 11月
合同学校評議員会	○ 評議員会を合同で行うことにより、共通の課題を確認し、今後の学校運営に生かす。	校長・教頭・ 教・学校評議 員	7月 12月 3月
稲田小中一貫教育 地域運営協議会	○ 地域の方々と小中一貫教育をどのように進めていくかを小中一貫教育推進グラウンドデザインを基に話し合い、よりよい一体型の一貫教育を進めることができるようにする。	校長・教頭・ 教務・PTA会 長・稲田地域 区長会代表・ 学校評議員	7月 12月 3月
キャリア教育 指導計画の作成	○ 9年間を通した系統的なキャリア教育の年間指導計画を活用することにより、自己のよさを見つけ、伸ばし、キャリア発達を促す。	全職員	通 年
稲田小中学校 人材バンク事業	○ 地域の方々に学習等のサポートをしていただき、教育効果をさらに向上させる。	全学年	通 年

	地域の方々と触れ合う中で、子どもたちの キャリア発達を促す。		
--	-----------------------------------	--	--

4 先進校視察計画

- 須賀川市の目指す小中一貫校と方向性を一にする先進校の実践を視察し、小中一貫教育への取り組みのさらなる推進・充実を図る。

5 一貫教育推進会議日程

- 連絡協議会

第1回 4月 4日 (火)

第2回 6月 27日 (火)

第3回 8月 24日 (木)

第4回 11月 13日 (月)

第5回 12月 18日 (月)

- 地域運営協議会

第1回 7月 24日 (月)

第2回 12月 12日 (火)

第3回 3月 8日 (木)